週刊 時事経済

発行所
平市新川町17
株式会社
時事経済新聞社
主幹　田原登
電話　4775
毎週　土曜日発行
定価3カ月　百円
一部　五円

高級センスある自家製靴
靴とスポーツ用品
大塚
平・駅前大通り
電2077

いよいよ公聴会を開く
公営バス問題　四月下旬に

公営バスは果して許可になるかどうか、五市三十万住民の注目を惹いている大きな問題となっているが、その許可、不許可のヤマとなっている公聴会は愈よ今月下旬に運輸省陸運局で開かれることになった。開催日取りは近く官報で公示される筈であるが、当日は五市公営バス事業団からは諸橋平市長を始め市議会側から公営バス特別委員会委員長金古政通氏、五市から出ている公述人。

公営バス側はこの公聴会において公営バスの必要性を強調することは勿論で、それは独占企業の上にあぐらをかく常磐交通だけでは今後伸び行く石城五市市民の足の満全を期すことが出来ない。独占企業の常磐交通は若しも公営バスが万一にも手を引くことにでもなれば独善に陥入り客へのサービスは悪化し、それでなくとも現在朝夕のラッシュ時には満員々々でバス乗降に非常な苦労をするという弊害を来しているといったことなどバス事業は適度の競走によって市民の足を確保すべきであると具体的例証やら弊害の実相などぶちまけて突撃するものと見られ、その説明には諸橋市長がその衝に当るが、補足説明は事務局が当ることになるであろう。

一方常磐交通ではこれに対し一方公営バスに反対している常磐交通側からは野崎万蔵社長始め同喜八郎専務、同理夫常務ら重役陣から一族郎党を引き連れて出席する模様である。かくてバス問題審議委員会委員に対して双方から供述書を提出して理由を説明するワケだが、二日乃至三日に亘って論戦は展開される模様であり、その結果三、四カ月の間に許可、不許可が決定することになるらしい。

野崎理夫常務が説明を一手に引き受け防戦にこれつとめるらしいが、先づその主張の重点を公営バスがなくとも常磐交通だけで輸送の円滑を期している。公営バスの事業計画は専門的に見て当を得ない、公営バス問題が起ったのは市長選の落し子である等と例をあげて反論するらしく、双方それぞれあらん限りの知恵をしぼって攻防の大論戦が展開される模様で、何れの主張が妥当であるかを認識してもらうこの公聴会の結果は大いに注目されて来た。

酒の話
ゆらぐ中小酒造業
十月には丸公廃止　近代化経営が必要

酒の一番多く飲む時季は春の花見と暮れの忘年会だと云われ「酒なくてなんの已れがさくらかな」だが、この酒も今年の十月にはマル公廃止となる。二十数年続いて来た造り酒屋保護政策といわれたこのマル公制度も愈よピリオドが打たれるワケだ。

全国には造り酒屋が四千八十軒もあるが、マル公廃止でどうなるだろう。マル公が設定された当初の目的は消費者保護だった。ところがだんだんに造り酒屋が販売競争をしなくともすむ様になり生産者保護の制度とさえいわれるように変って来た。その制度がくずれるのだからいまから乱売安売りが予想されているわけだが一部には場合によっては倒産酒造家も出ないとも限らないと観測する向きさえあるしかしマル公廃止となっても完全な自由競争になるのではなく、各級の酒に大蔵省がきめた基準価格が適用されるというから、一流メーカーはまづ困りそうにない。困るのはマーク・バリューのない中小メーカーだということになりそうである。いまでさえ一流メーカーの中には大蔵省からの割当酒造米では足りないので地方の中小メーカーから〝買い酒〟をして実質的な下請けをしているところが多いのである。全国のトップクラスにある白鶴酒造の嘉納正治社長は早くも「今後五年もたてば地方業界の再編成が必要になろう」といっているそうで競争が激しくなり、販売ルートが確保できない地方の中小メーカーは必然的に大メーカーの系列下に入るようになる可能性もある。

それでは大メーカーは安閑としていられるかと云えばそうではない。大メーカーの蔵元でもいま自由化に備えていろいろな秘策をねっていると云われ一番問題になるのは〝安くてうまい酒か〟「高くとも絶対によい酒」を売らなければ愛酒家には買ってもらえないということだ。「高くとも絶対によい酒」というアイデアが生れた理由は戦前の自由競争はなやかなりしころの郷愁とも云われるが、恐らく一升千五百円から二千円ぐらいになりそうだという。

それに自由競争となると、造石高も問題になる、一流メーカーでも一流どころでも古い制度が残っている。設備は徐々に近代化されているが、経営そのものも近代化されない限り造石高の増量はのぞめない、清酒の海外進出も考えているが現在のところ輸出はわずかに年間二千石、この程度ではなさけない。そうでなくとも輸入ものの洋酒やビール国産洋酒に足もとをすくわれて千鳥足になっているといわれる。

桜は咲き始む
サクラまつり幕開く

平市のさくらは急に色づき早いのは咲き始め十日ごろが満開になるのでないかと見られさくらまつりも事実上三日の松ガ岡公園で開く演芸大会で幕を開くが、五、六、七の三日間は演芸大会や民謡踊り競演会、八日には釈尊降誕花まつりと連日催し物があるので花見る人が毎日払しかけ賑うものと見られている。既にボンボリは公園と三十米道路につけられ夜の美観は目をうばうばかりであり、茶店もずらりとならんで客を呼んでいるが、気の早い花見宴会もぽつぽつありこゝ当分花を謳歌する人でごった返すであろう。

今度は鈴藤で百貨店
地上四階、地下一
秋までに平市内に三つ建つ

平市三丁目の衣料品〝鈴藤〟（社長鈴木康資氏旧名藤太郎）は地下一階、地上四階のデパート建築を計画し、五月に着工、十月に完工の予定である。具体的案はまだあきらかにしないが、実施は確定的である。

鈴木社長の話＝桜まつりが終ったら工事に着手するつもりである。完成は六カ月はかゝると思われるから十月までには完工したい。地下一階、地上四階にしたいと思っている。西武のデパート計画が退却したので地元の業者が小規模ながらもデパート建設は誘客にもなり平市の発展にもなると思い決意した次第です。

さきに〝藤越〟が地下一階、地上五階建のデパートを造り近く完成するが、次で大黒屋が地下一階、地上三階の工事に着手したのに続いて〝鈴藤〟がこの計画をたてたことは小さいながらも本年中に平市に三ツのデパートがお目見得するワケで商業都市として一躍活況を呈するものと見られている。

フナ五十貫放流
横川のハッチンなどに

夏井川漁業組合（組合長金古政通氏）では夏井川の魚族が乱獲され大小大公望たちが獲物が少なくて失望しているのでフナの増殖をはかるため、去月二十八日フナ五十貫（三寸～六寸）を放流した。場所は横川のハッチン、小屋前に放流したもので、フナは郡山市内から買受けたもの。この放魚によって四月下旬から五月初めに産卵するので相当増殖するものと思われ、またつり天狗たちも釣果は良くなると見られている。

荒井課長に知事賞

平市農林水産課長荒井敬助氏（五四）は十カ年以上産米生産、売渡し業務に功労があったので、去る三十一日県知事賞を受けた。

制服を支給

内郷市では生活保護家庭の小学校新入学児童六十二人に制服を支給した。

灰皿

健康であることの有難さは病気になってみてはじめてほんとうにその有難さが分るものである。入院して病室の窓から毎日元気に活動している人々の姿を眺めてうらやましく思うのは一度体験した誰もが抱く感じであろう。一家皆健康で子供達も学校は無欠席で通したと云うのもなかなかないものだ。

高久の神谷作部落の薬谷吉計さん一家はこの珍らしい健康に恵れた家庭で吉計さんは七十二才、妻タクヨさん六十九才家督の茂さん四十七才妻スエノさん四十五才、その長男の吉宣さんは入学以来十カ年長女カネヨさんは九カ年、次女シゲ子さん十一カ年、三女フジ子さん中学二年八カ年、何れも無欠席で通した。

この分で行くと吉宣さんに嫁さんが来ると三夫婦揃うことになり、渡初めなどには引張り出されることだろう。何としてもこんな健康一家でありたいものだ。

旅館割烹
すみや
平市紺屋町　電3559　4538

悪名（？）高きセルフサービス
藤越
九日からの全館完成売出しと同時に今までのセルフ販売法をやめ、もと通りお買上げと同時にその場でお勘定を頂くことになりました。
藤越のように混雑する店ではセルフは無用なのですね。かえって罪人をつくるもとではないか、という非難もありました
平市
火曜サービス
一階（食料品）牛ステーキ一枚二五円
二階（衣料雑貨）紳士ナイロンジャンパー六五〇円
三階（衣料品）学生手提一割引
（食堂）四月八日までお休み九日より新館五階で開店
募集（掃除係、店内巡視）

立食
天婦羅
店舗の一部を改装して立食い天ぷらを四月上旬から始めました。
御気軽にお立寄り下さいませ。
割烹　月平　平市

春の行楽のお伴には
寿司折と料理折をどうぞ
寿司折　一一〇円
料理折　一五〇円より
寿司の江戸川
平市才槌小路店
電3021　4846
平市紅小路店
電2727　4845

食肉のデパート
神戸特選霜降牛肉
鎌倉ハム特約店
緑屋
本店　平市一丁目　電二五三九
支店　平市中央通　電二七九四

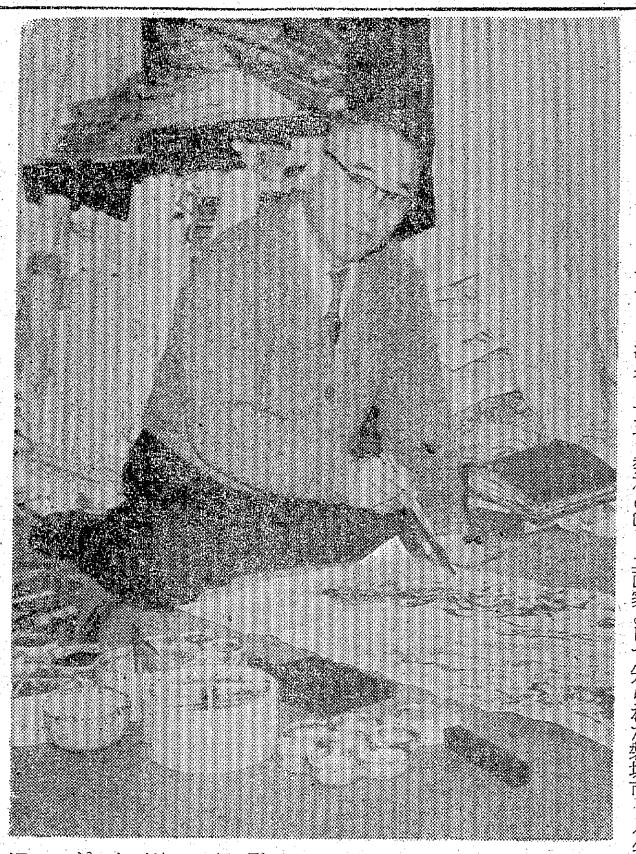
大平華泉の個展

十六日から坂本画廊で開く

大平華泉後援会（会長諸橋久太郎氏）では日本画家大平華泉個展を来る十六日から十八日まで三日間平市一丁目坂本紙店四階で開くことになった。出品は左の十九点で何れも華泉画伯の会心の作ばかりで、観覧者も多く押しかけるものと見られている。

▽賛助出品

一、勿来の海　二、早春　三、溪流　四、大島風景　五、春暖　六、尾瀬　七、南房冬暖　八、南伊豆風景　九、西山荘　一〇、海浜　一一、奥日光　一二、帰樵　一三、田代山頂　一四、浴泉　一五、梨花の頃　一六、富嶽　松林桂月　一七、花鳥　吉田登穀　一八、風景　松浦　満　一九、合作　浜田台児外十一



大平華泉画伯は磐城市の出身で幼少の頃から絵が上手で郷土画家として知られた磐城市の故荒川華関先生にやく十年師事し、昭和十五年上京、日本画家の最高峰と云われる松林桂月翁に師事して勉強した結果、めきめきとその技能が磨かれて昭和十七年には日本画院に入選以来十九年まで連続して入選、応召して帰還後二十一年の春の日展に「冬の山」を出品して入選以来、二十七年には「城跡」が特選になるなど三十四年まで引続いて入選し、特選になった二十八年には無鑑査の待遇を受けて出品するなど日本画壇において重きをなしている。（写真は大平画伯）

挨拶

大平華泉後援会々長　諸橋久太郎

今般郷土の生んだ大平華泉氏の近作を一堂に集めて御清鑑に供することになりました。氏は皆様御承知の事と存じますが、磐城市泉の出身で若くして画道に志し同市鹿島荒川華関先生に師事しその後華関先生の推挙により南画界の大家であり曾っては文化勲章の授与に輝く松林先生の門に入り研さん努力その枯淡なる筆致と円満なる人格は幾多世の人の認むるところであります。画歴は昭和二十二年日展第一回入選以来連続十四回その間昭和二十七年の作である「白河小峰城跡」は特選、翌年無鑑査の栄誉を得たのであります。画風は山水を主とし現代日本画の感覚変遷を示し強い個性美が見られる異色ある作家として将来を期待されて居ります。更に伊東深水、児玉希望、矢野橋村先生の主宰する日月社の特別委員として活躍する中央画壇の中堅作家であります。氏は実に前途春秋に富み必ずや大を成すと信じます。今回の作品は特に力作を出展して永遠に郷土に、その足跡を残したいと言う心境でもあり、皆様方の御期待に副ふことと思います。各位の御賛同を賜り画会をして有終の美を飾り意義あらしめたいと存じます。此の機会に江湖の諸賢の御清覧を賜りたく御推薦申上げます。

シャンソン歌手

石井好子嬢を招く

七日にリサイタル開く

いわき労音では来る四月七日（木曜日）午後六時より内郷市公会堂でシャンソン歌手で有名な石井好子嬢を招きリサイタルを開くことになった。伴奏は寺島尚彦とリズム、シャンソネットで、労音では石井嬢のリサイタルを六月に予定していたが急に四月末パリに立つことになったので繰上げたわけで、六月には藤原オペラコンサートを予定。

相馬海岸に無限のウニ

採取は近く許可の模様

相馬沿岸のウニ（俗称ガゼ）は開闢以来採取されたことがなかっただけに、その数は無限といってもいい位である。むしろ小舟一本磯釣りの漁師達は垂れ糸に邪魔になって、何んとか磯掃除をしなければと、古くから言われて来ただけに全然その利用乃至は活用の道を知らなかった。このことを知った県水産事務所では昨年来眠った海底資源の開発に乗り出し、研究の結果、充分採算がとれる確信を得たので、関係漁業協同組合に対し採取希望の有無を照会中のところ、相馬市磯部、原釜、新地の三組合から「ウニ」採取の漁業を新たに共同漁業権の免許内容に加えられるよう申請書の提出があったので、即刻福島県海区調整委員会に対し諮問した。委員会ではこの諮問に基き去る三月二十二日磯部、二十三日原釜、二十四日新地の三地区で公聴会を開き、漁民から民主的意見を聴いたところ、全面的に賛成であるとの結論を得た。これに従って三月二十八日午後一時から県水産事務所会議室で本委員会を開き改めてこのことを再確認をした上、知事に答申することを決定したこれが県に届けば「ウニ」採取は近く許可になる模様であるが、石城地方では昔からウニの貝焼は夏海味覚の王者として珍重されてきたのに反し処かわれば品かわるのたとえの通り、相馬地方では一顧だにされなかったものが、今年からにわかに脚光を浴び漁民の懐もこれによってふくらんで行くものと大いに期待されている。

郷土の地学

あぶくま山地

東がわの生い立ち ⑦

柳沢一郎

阿武隈山地と中生代

阿武隈山地で今まで知られている中生代地層は、ジュラ紀層と白亜紀層で三畳紀は欠如しています。この中生代の一番下の三畳紀層は阿武隈川を越え、仙台平野に入り仙台市の北方に有名な梨の産地、利府松島に好鑛出があります。この時代を通じての特長としては、まず火成活動があげられます。阿武隈山地の岩石は変成岩、火成岩、堆積岩より成りますが、郷土周辺の基盤岩として存する阿武隈の岩質は深成岩である花崗岩類が圧倒的に多いのです。

それから今一つ特筆すべきことは、郷土周辺の阿武隈山地には火山岩が分布していないことです。火成活動の大部分は、花崗岩類の比較的広区域に亘る貫入が主体となっているようです。これは地表に出ないで地下数千米の深部に岩しょうが貫入してきて徐々に冷却結晶してできた岩石です。ジュラ紀地層は相馬地方に分布し、この地層は主として粘板岩、砂岩及び石灰岩層より成り、サンゴの化石が可成り沢山発見され、日本の標式的地層である鳥巣石灰岩と同時代のものとされています。今日の堡礁にも比すべきサンゴ海の遺跡です。

前にお話したように古生代末期の地殻変動によって陸化した阿武隈山地は、長い間の削剝作用を受けた後、局地的に再び地盤沈降し、仙台周辺の利府の三畳紀層及び北上山脈南部及び北部にも可成り広く三畳紀の地層を堆積しました。

ジュラ紀の海侵によって、該地層を生成したものと思われます。相馬地方の後の時代とも云うべき白亜紀層が直接被覆しておらず、新生代の地層が被われているのに対し、南部双葉郡においては第三紀層が被覆しているという対照的事実を示しています。

双葉郡では略東西方向に深い溪谷を作って流れている木戸川を頂点として石城郡四倉町玉山鉱泉附近まで、楔状に白亜紀層が可成りの面積に亘って分布している事実は、極めて興味のあることと云えましょう。つまり中生代の下部、中部、上部をそれぞれ三畳、ジュラ、白亜紀としてそれらの一群の地層が直接しているところは、阿武隈山地には何処にも見当らず、最北部の阿武隈川を越えて、利府に下部の地層が現れ、次いで相馬地方に中部のものが、双葉郡に上部の地層がそれぞれ行儀よくがん行状に略南北の走向を保ちつつ賦存しています。

このように郷土の一連の山々の姿を眺めてみますと、何の変哲もないかの如くですが、水陸の分布の相違から各時代の差を生じ、それに伴いめまぐるしい程の生物界の変遷が認められることが多いのです例えば相馬地方にジュラ紀の地層があり、そこからサンゴの化石を発見したとしても、日本列島全域から見ると、そのジュラ紀の地層は至るところサンゴの化石が見出されるわけではなく、サンゴの化石が地層から産出したということは結局その地層を含む地域が昔海面下に在ったことを示しますから、その化石層は一般に海成層と呼ばれています。それで同時代のジュラ紀のものであっても、その期間が海面下になく陸上で堆積した地層であるなら陸成層と呼ばれます。そのような陸成層では堆積環境が異なるものですから、サンゴの化石が発見される代りに、羊歯や蘇鉄などの陸上植物の化石が発見されます。

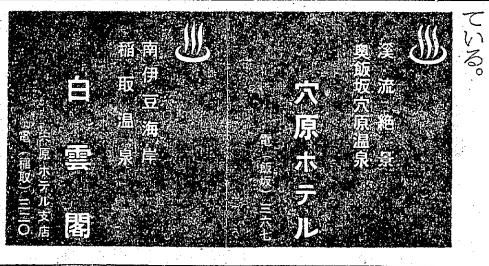
（筆者は磐高教諭）

× ×

ことしの軟庭スケジュール

県軟庭の三十五年度スケジュールが決まった。石城地区関係行事は次の通り。

▽四月十七日石城地区選手権（平市営コート）▽五月十五日石城地区高校選手権（同）▽六月十二日石城地区高校対抗全国予選（同）十九日石城地区クラブ対抗戦（同）二十四、二十五、二十六日県高体連大会（郡山）▽七月三日全国都市対抗東北地区予選（平市営コート）二十四日石城地区県体予選（同）▽八月中旬県総合体育大会（福島）▽九月十六、十七、十八日国体東北予選（秋田）



荒物雑貨
伊勢屋
平市四丁目　電二〇四五

家具のデパート
丸ほん
平市3丁目　電代表3107
工場　平市新田前電4416

国産品の誇り
国際水準を行くキャプチャーンテックス
皆様のご満足のゆく洋服の御注文は
大平洋服店
平市堂の前　電三九七二
最新式ししゅう用シンガーミシン新設
大平洋服店ネーム部

森永が誇る
東洋一の処理場より皆様のご家庭に健康をお届けする
森永ホモ牛乳
コーヒー牛乳　ウルトラ牛乳
フルーツヨーグルト　ヨーグルト
★ お祝に　お見舞等
毎日配達付の商品券を
御利用下さい
森永牛乳販売KK
平市丁目　電2987

ネクタイ　ワイシャツ
化粧品　バンド
平駅前大通　電5721
ランドセル　鞄　靴
平市二丁目　電5722
帽子　学生帽
平市三丁目大通電5723
百合

リンカーンに似た人材
偉大な二宮尊徳を礼讃
中山純一先生講演

力行会報徳社第四回総会は三月二十七日午前九時から平市公会堂日本間で開きやく五百名の会員が出席した席上、大日本報徳社常務理事中山純一先生の「二宮尊徳」についての講演を聴いたが、偉大な哲人であったばかりでなく経済学者としてまた民主主義者としてリンカーンにも匹適する人であったと大きな感銘を与えた。講演要旨左の通り（写真は中山純一先生）

このたび力行会の新入社員の入社式ならびに総会に招かれました。縁というものは不思議なもので、回顧すれば昭和三十年十月十五日静岡県の掛川市の報徳社に力行会が入社されてから、その翌春始めて平に小野常務理事とお邪魔して以来五年、毎年一、二回こやっかいになっています。はじめ四、五社だった支店も年々その数を増して今は十四五になり、六十名位だった社員も二百名を超えて非常な発展ぶりです。

野木社長さんは得た財を公共的なものに奉仕するために使うということを念願としていると云われたが、本当に社長さんはじめ社員の皆さんが報徳の道を如実に行ってらおれるのです。

二十八名の若い健康な人達が入社されまことに喜ばしいことです。「少年老い易く学成り難し」というとおりです頑張って下さい。

私が大学にいた当時、本多静六教授という先生から「幸福とはなんぞや」と問いかけられたのを思い出します。二宮尊徳も万人の幸福の為に己れの一生をなげうった人でしたが、幸福とはどんなものかというと実にえたいの知れないもので、今日の幸福は明日の幸福とならず、たとえば新らしく会社に入った当時は自分を幸福だと思っていても二、三年たつうちに色々の不満を持ちはじめて幸福だとは思わなくなります。

貯金が十万たまればもっと多く欲しいと思い、二十万になれば更に欲望は限りがない

幸福とは次から次へと欲望が満たされなければならない。決してとどまるものではなく前進的です。

だから、幸福は努力なくして得られない。自分が努力して一つ一つ獲得してゆくものであると、本田静六先生が申されたが、今にしてなるほどとうなづけるのです。人生即ち努力、努力の積み重ねが幸福です。二宮尊徳は社会の幸福のために一生を終えた人であります。敗戦によって日本人は急にしぼんでしまって、それほどまでにしなくともと思うほど卑屈になってしまいなかには大日本報徳社の大の字をとれという人すらいました。自ずから卑下して自信を無くしました。

終戦直後駐留軍の司令部にインボーデン少佐という新聞課長がいて、或る日、大日本報徳社を調査のために訪れました。河井社長（元参院議長）は英語が流暢でしたので通訳をつけずに応待しましたので、報徳とは何かその仕方（その方法、事業の仕方）はどんなことかをくわしく話しましたところ少佐は感じいって様々の質問をこころみました

「なるほど二宮は偉大な哲人だが、どこでだれに学んだのか」第一の問いです。

「二宮尊徳には師はいない。貧困の為に、働く自分をとおして、体験をとおして、天地の理念からすべてを学びとり更に神仏儒の三つの道をてらし合わせて自分の生活体というものを極めたのです」

少佐は更にききました。

「当時幕府と朝廷と対立していた時にどっちに味方したのか」というのです。

「二宮先生はどっちにも偏せず、その時代経済のどん底状態で苦しんでいた庶民をそのカーンの奴隷解放に協力した人で、私も自由平等を尊んでいるのです。日本にもリンカーンと同じように立派な人物がいたというのは大変うれしい。日本には東条とか荒木とか殺伐な人間ばかりしかいないと思っていたのに、二宮を知って非常に愉快です。だが二宮が有名になったのはどういうわけですか」

「幕政の末期、天保七年の大飢饉に、二宮尊徳の指導した昔非常に荒れはてて貧乏だった桜町（栃木県）という村がびくともせず、余裕米さえ持って一人の餓死者もださず、倉にみちあふれた米で、餓死する者続出の隣村他村を救ったのです。難村再建の中途彼の報徳の仕法ははかどらず悩んだあげく、成田山に二十一日の断食をして、遂に大衆を理解納得させる方法を考え出しました。イモコジというのは即ち大衆討論、大集の集合をもってお互に自分達の考えを発表し合い、批判しあい、お互に高めあって成長していこう、一つの問題をきわめ合おうとするものです。

荒廃から救った人です」

「幕府から迫害は受けなかったのか」

「それどころか幕府は、その苦しい中で、幾万の農民達を救っていった尊徳を受けいれて最後には幕臣にまでとりたてています」

「日本の少数民族（帰化人と賤民）に対しては二宮はどういう態度で接したか」という変った質問には

「二宮先生は階級的思想はもっていず平等の思想をもっていた。宇宙の一切のものが長所美点（徳）を持っていてどんなものにも良いところがあるから、それを育てのばしていくことが報徳であり、一切の差別感をもっていませんでした」という答に少佐はすっかり感激し「私の祖父はリンカーンに似た人材だ」というとやはりそれは天地から受けつぎ育てられて来たものです。人間が育つことが出来るのは、いや動物も植物も親の愛、ひいては天地の愛があるので成育しているのです。愛こそ成長発展の力であり源です。

生きるように授けられたさまざまの特長性質も天地の愛のなせるわざであります。凡ゆるものが生き続けられるように、そう造られています男の女への愛も、女の男への愛もそれは自然のまことの道です。しかし動植物と違って人間は自然のままであってはいけません。

「まことは天の道なり。天の道をまことにするは人の道なり」です。報徳訓の一番はじめに出て来た令命という言葉は非常に深い意味をもっています。天地の想像を超えた大きな力、神のこころ、天地の教えとでもいいましょう人間すべてこういう大きな力を感じとりその深い意味を悟らなければなりません。さて最後に結局、人間の不幸は何から生ずるかというと、それは貪からです。

貪は奢、怠、斗、奪の四つから生じ、それを防ぎ、勤倹譲の三つ、勤労にはげみ、分度を守り、譲道を行っていくところに幸福への道があります

報徳とは実に奥深く、人生経験を加えて、勉強していけばいくほど判って来たようで更にまだまだ浅く奥は深いという感じがします。その計りしれないところへ休まずたゆまず一歩一歩進んでいくことが最上の道であります。

話してみましょう。これは二宮尊徳四十八才の時に宇宙、人生というものを洞察されて深くつきすすめた報徳のエキスです。報徳訓は全部で十二章ちょうど四季に分けてみるとはっきりします。

はじめの三章は春です。

父母根元在天地令命
身体根元在父母生育
子孫相続在夫婦丹精

すべての芽が生れ出でる、根元をとらえた宇宙観ともいうべきものです。世の中すべては天地人三才の徳によって造られ、成長発展しています。

尊徳はまた、我々の根元は混だくした宇宙であり、太陽から地球が出来てひえかたまった大地から人間が生れたとはっきり云っております。驚くべき宇宙観です。

父母富貴在祖先勤功
吾身富貴在父母積善
子孫富貴在自己勤労

もえ出た芽がしげる夏は、富貴を現わしていて、尊徳人生観であります。世界は永却のかなたから天道によって因果輪廻、自然の姿をたどって来ましたが、人間は畜道、虫けらとちがって。「人道」は天道にまかせず、無視せずに人間の道をおこない「譲」の道は、後世に凡ゆる富や文化を譲り残すことです。人民の勤労の結晶である田畑山林は譲り受けつがれるのが人道です

身命長養在衣食住三
衣食住三在田畠山林
田畠山林在人民勤耕

これは秋の実り、長養を説明した処生観とでもいうところです。

最後が報徳へんどでも云いましょうか

今年衣食在昨年産業
来年衣食在今年艱難
年々歳々不可忘報徳

生活には分度をたて、計画を深く、常に人間としてどうあるべきかを考えなければなりません。フランス革命の時「我々にパンを与えよ。さもなくば死を与えよ」と云われたものですが。人間は一体何故に生きているのでしょうか。食うためだけに生きるのではなく何か世のためにつくして生きなければなりません。

二宮先生は一円ということを説かれました。一円は二元であって一円の中に相和する二つのものがあるのです。天地相和して万物を生じ、夫婦相和して知の生活生れ、貧富相和して財宝生ずるのであります。

二宮先生の宇宙観をもう一度説明してみましょう。金毛録という著書の万物発言集の中で、ダーヴインの進化論より先立つこと三十年前、すでに二宮尊徳の理論は展開されていました。万物は永却のかなたより一元一体でありコントンとした宇宙の中で形ずくられた一体の天地は相和して万物を生じ、我々の祖先は太陽であるというのです。一つの星雲説でもあります。

人間の最も大切なものである「命」は誰れから授かったのかというと、父母の父母のそのまた父母のその根元は天地であります。では愛は誰れからもらったかというとやはりそれは天地から受けつぎ育

勿来の桜まつり

勿来市植田町のサクラまつりは去る三十日から開き、植田八幡神社境内に広告提灯が多数かざられ、売店や休憩所も出来た。

× ×

娯楽映画は三夜東映
東映スコープ
毎週東映3本立
大人70円 学生50円 小人30円
4月6日～12日まで
天下の伊賀越
暁の血戦（天）
午前零時の顔
風小僧
山びこ剣法
平日10時・日曜祭日9時より
新装開館 三夜東映
平警察署前・電(平)3 936

4月5日～11日
ビスタビジョン
墓につばをかけろ
問題のフランス映画！
クリスチャン・マルカン
アントネラ・ルアルディ主演
監督ミシエル・ガスト
ビスタビジョン
イギリス映画戦争巨篇！
熱砂の海
ジョン・グレイスン
マイケル・クレイグ主演
監督ガイ・グリーン
完暖全房 ひかり座

新東宝
4月6日～12日
新東寶明朗喜劇大作
若社長と爆発娘
ふんわりと甘く楽しい
高島忠夫と大空真弓の
ラブ・ソング！
まぼろし探偵
地底人襲来
絞殺死体から眼球をえぐってゆく地底人の正体は？
続発する残酷な事件！
鉄腕うなるまぼろし探偵！
平新東宝

3月30日～4月5日
日活天然色
六三制愚連隊
松竹スコープ
断崖に立つ女
日活スコープ
香港秘令O号
4月6日～12日
松竹天然色
新二等兵物語
（敵中横断の巻）
日活天然色
打倒（ノツクダウン）
平館

会株社式
常磐ヤンマー製作所
平市一丁目 電四三二六・四三二七

世界初の信組設立や家老家の再建を成就

民主主義だつた二宮尊徳 ⑦

二宮金次郎は服部家の再興にあたって、まず徹底的な緊縮政策をおこないました。武家で経済的政策をほどこそうと思っても限られた範囲があります。

商業的な米の投機を試みたこともあるようですが、百三両ほどの損を生じて自分で払ったこともあり、とにかく支出の面で合理的経営を徹底させました。

こんな話があります。

或る時、女中の一人が金次郎に金の借用方を頼んできました。「貸しましょう。だがどうして返すのかな」と聞くと女中は逡巡したので「それでは返す方法を教えてあげようまず薪を倹約するのだ。五本たいていたのを三本に節約し余る二本は毎日買いあげてやるからそれで借金を返しなさい。五本の薪を三本に減らすには、鍋のすみをきれいにおとし、燃やす薪は煙が出ないように、鍋底に火がよく当るようにたくのだ。消炭も大切にうまく使うのだ」とよく教えたのです。それでも鍋炭も落さなかったので、おまけにその鍋を買ってやってどうという習慣づけさせて、節約と倹約を合理的に身につけさせたわけです。

しかし、金次郎は、このように朝から晩まで節約と倹約ばかり云っていたわけでありません。女中、下僕たちに働くことの喜びと倹約の効果をしっかりと教えました。

服部家はそれまで人使いが荒くて勤めにいくので有名でしたが、彼はこれを改めて働きやすい場所にしました。使用人が誤って物をこわした時などはこれまでなら、ひどく叱られて弁償させられたのをもし正直に云って出ればかえってほめてやったりしたのです。倹約にしても、女中、下僕が買う元結や髪油を、彼が代って買ってやるとき、従来より一級品をおとして、その分だけ辞めて帰るときまで貯めておいて渡して大いに喜ばれたりしています。

さて、服部家再建中、最も大きな出来事は、彼が「五常講」というものを発案し実施したことです。五常講は日本最古の信用組合で、世界で最も古い信用組合の芽生えでした。その頃農民といわず町人から武士まで凡ゆる層が借財に苦しんでいたのですが、彼は薪の節約や日常の工夫などで金をつくって積みあげ、それを使用人たちの間でこれを流通させるようにしたのです。その借り方と返し方は精神（道徳）と教利（経済）とを二本の柱としました。即ち、お互が仁義礼智信という言葉をかえれば真心、規律、愛情、知恵、真実の五つを基本にして、なるべく多くの人が利用出来るように必ず期限を守り百両が万両の価値があるように、無利子で使わせたのです。

金次郎はこのようにして家老との約束どおり、五年間でこれまでの服部家の借金千数百両を完済して、なおも余裕三百両も残るという成績でありました。再び報徳記を引用してみましょう。

遂に再興を遂げた金次郎はその残った三百両を持って家老夫婦の許にいって一際の家政整理の経過を報告した上に三百両を百両づつ三つに分けて、一包を主人の前に差引して「これは別途の物として非常公用の為に保管しておいて下さい」もう一つの包を夫人に差し出して「これはお家の非常準備としてお手許に」最後の一包は「おふた方とも、よく長い間ご不自由を我慢して下さいました。厚くお礼申しあげます。この分はどうかご自由におつかい下さい」と云いました。家老十郎兵衛はひどく面らって「いやどうも…余りに意外な申し出でで驚くばかりで…この残金お礼としてお前に差し上げたい」といいますので金次郎はそれではと最後の一包だけを受取りすぐ下男下女一同を呼び集めて「みなの衆、長い間ご苦労でした。おかげで再興もなりました。ついてはここに御主人より皆への御褒美である」と云って百両全部を使用人に分け与えてしまわれました。

また、服部家の財政は一応快復したものの、将来の計画を立ておかなければ、数年のうちにもとのもくあみになる恐れがあります。それで今後は千石を以て当家の分度と定め、三百石を分外として別途に積み立てて置いて、非常用及び予算外の予備費とすること、仕法書を残して、来た時と同じまゝで一人服部邸を辞し去ったのでした。

その間三十二才（文政元年一八一八年）の服部家立直しを引受けた年の十一月には小田原藩主忠真が領内の孝子節婦及び篤農家を集めて表彰した時に、金次郎も「村のため相成云々」ということで賞詞を与えられています。彼が個人から離れて社会一般を広く見るようになって来ているようです。

翌年三月にはとうとう、妻きのが家風に添うことができないということで離縁を申し出で、彼の慰留もきかず家を去っています。

藩の民政諮問に応じて手桝の改良統一を建言して採用せられ、賞せられました。でたらめな桝の大きさを統一させて農民の悩みを少しでもやわらげることが出来ました。

同じくその年には飯泉村岡田峰右衛門の女なみ（十六才）を娶り、生涯の大事業にとりかかることを自ずからは知ってか知らずか、一休みというところです。

経済川柳

金（下）　渡辺一角

良心もチト頬冠る金詰り
人格の無視にも堪えて握る金
金のある人ばかりの月給日
金策の脈を信じてビール抜く
金出さぬ酒なら吐く迄遠慮なし
腹のへる仕事がほしい金ができ
温泉場金のないのがよく浸り
金のない欠伸をしてる日曜日
金たまりそれから組しにくい面
この村に過ぎた男の無一文

つり綺談

田原登

会津若松にいたときの話である。満州事変から日支衝突事変に発展した世の中はだんだん軍国調が濃厚になり険悪な空気が日増しにただよって来て、麻雀も撞球も出来なくなった。それでは魚釣りでもするほかはあるまいと友人に教えられて大川の清流でハヤ釣りをおぼえたが、当時はオイカワが非常に繁殖していて矢鱈とつれた。大低蚊バリ釣りであったが、だんだんには近所の人ももらってはくれず猫も食わなくなりやむなく前の小川に捨てるという始末で、このオイカワがハヤの卵を食うのでハヤはぐっと少なかった。私は只蚊バリを清流に流し道糸をピンと張って横に引くとグッグッとくるのでその面白さに毎夕方殆んど出掛けたものである。きようもオイカワ百尾ほどとハヤ三十尾ほどを釣りもう引き揚げようか今少し釣ろうかと思っていた矢先、突然振っていた二間の軽い竿の糸が水面に落ちて来ないのである。辺りは夕闇が迫って薄暗くなったところで何回も竿を振ってみたが依然として糸は空の方にのぼっていようで落ちて来ない。これは一体どうしたことかとゾッとしたのである。しばらく竿をもったまま糸の行方をよく見たら空を飛んでいたコーモリが蚊バリに引っかかっていたのである。そしてよく見るとコーモリは円を描いて廻っているのである。コーモリは蚊バリを虫と思って追かけて来たトタンに羽にひっかかって仕舞ったのだろう。私は暫らくこの光景を眺めたうえコーモリを生捕って持ち帰ったのである。

甘太郎焼
真根井菓子店
平市銀座通り　電四〇二五

クツの王様
レツクス・フレツクス
従来のクツよりぐつと軽く弾力性がありとても快適です
素晴しい人気
靴のスガタ
本店平市銀座街電4604
支店平市二丁目電4059

九州一周二等観光団体募集

九州は日本民族の古都であり外国との交流の多くの史跡や神代以来の伝説をも祕め古くは火の国と呼ばれた様に阿蘇霧島を頂く火山帯は豊な出で湯を湧かせ観光客を一層楽しませるものがあります。当力行会観光部にては係員が親切に御案内申し上げ家族的な観光てす。奮つて御参加下さいます様お願い致します

期日　四月二十七日出発（九泊十日）
人員　四五名
会費　三一、二〇〇円（一切の費用です）
◎御希望の方は金参千円也添えて御申込み下さい。
◎備考　出発当日の御昼食は各自御持参下さい。

行程（汽車・特急・急行・準急・バス・船併用）

第一日　平発六、一五（準急ときわ）上野着九、四五　東京発一一、〇〇（急行高千穂）▼車中泊り
第二日　別府着九、四四（急行高千穂）別府地獄巡りと高崎山、野猿見学▼別府泊り
第三日　別府発七、四四　宮崎着一四、〇九　宮崎発一四、四〇（宮交バス）鵜戸神宮着一五、五五　鵜戸神宮発一七、五一（バス）青島着一八、三〇▼青島泊り
第四日　青島見学（七、〇〇—八、〇〇）朝食前　青島発九、〇〇（バス）—宮崎着九、四三　宮崎市内見学＝宮崎神宮参拝　宮崎発一二、一一—霧島神宮着一四、二八　霧島神宮発一四、四〇（バス）霧島温泉着一五、四〇▼霧島温泉泊り
第五日　霧島温泉発八、五〇　神宮前一〇、〇〇（参拝）霧島神宮着九、二〇　霧島神宮駅発一〇、四七（船）鹿児島市内見学▼鹿児島着一一、四八　桜島泊り
第六日　鹿児島発八、五二　熊本着一四、五四　熊本発一五、一〇　内の牧着、一六、五四▼内の牧温泉泊り
第七日　内の牧温泉発七、〇〇（バス）坊中着七、四〇　坊中発七、四〇　阿蘇頂上八、二〇　阿蘇山頂九、五〇（バス）坊中着一〇、二五　坊中発一一、二二　熊本着一二、三九　熊本市内見学二時間〇〇分　熊本発一四、二六、三角着一五、一八　三角発一五、三〇（船）島原湊一六、四五　島原湊発一六、四五（バス）雲仙温泉一七、四五（バス）▼雲仙温泉泊り
第八日　雲仙発八、一五（バス）長崎着一〇、三五　長崎市内見学　長崎発一二、三五　肥前山口一五、二〇　肥前山口一五、三三（乗換）鳥栖着一六、五一　鳥栖発一六、五五　二日市着一七、二二▼二日市泊り
第九日　太宰府天満宮参拝福岡（博多）市内見学博多発一八、〇〇▼（特急さくら）車中泊り
第十日　東京着一一、一〇　上野発一二、五〇（準急ときわ）　平着一五、五〇

平市紺屋町一一
登録第三〇号　株式会社　力行会観光部
TEL(平)5521～23